

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

平成29年3月16日（木）

【報告事項】

1 平成28年中の児童虐待事案の対応状況について

（生活安全部）

警察本部から「平成28年中の通告児童数は1,642人と、前年比で1,274人増加し、警察が児童相談所に通告した児童数は過去最多となっている。保護児童数は199人と、前年比で101人増加し、警察が保護した児童数は過去最多となっている。児童虐待事案の検挙件数、検挙人員、被害児童数についても、前年比でいずれも増加している。今後、児童の安全確保を最優先した対応の徹底と児童相談所等の関係機関との更なる連携強化により、児童虐待事案に対する的確な対応を図っていきたい。」旨の報告があった。

公安委員から「通告件数が増加しているのは、虐待防止ネットワークなど多くの見守りがあったからだと思う。今後も、地域住民の人達に関心を持ってもらい、それが抑止の方向に働くように、今回のような統計・分析の結果を、いかに啓蒙していくかが重要であると思う。そのためにも虐待防止ネットワークを拡大するなどして、広く周知していただきたいと思う。」旨の発言があり、警察本部から「まず、情報発信については、関係機関との連絡会議等において、事案の傾向などを情報共有していきたい。また、一般の方からの児童虐待通報が激増しているが、委員御指摘のとおり、これは社会全体で児童虐待に対する関心が高まっている結果とも考えられる。今後、県民の方々に向けた情報発信も、工夫しながら行っていきたい。」旨の説明があった。

2 鉄道施設における痴漢・盗撮等の現状と対策について

（地域部）

警察本部から「鉄道施設における痴漢・盗撮等の把握件数と鉄道警察隊による検挙件数は、ここ数年横ばい状態であったが、昨年中は増加に転じ、過去5年で最多となっている。昨年中の発生傾向は、通勤・通学時間帯の発生、高校生や大学生等の被害、スマートフォンを利用した盗撮が多くなっている。対策としては、鉄道警察隊による重点を置いた列車警乗等の諸活動のほか、鉄道事業者によるキャンペーン等が継続して推進されている。」旨の報告があった。

公安委員から「検挙件数は、把握件数の10分の1程度となっているが、やはり検挙は難しいのか。」旨の発言があり、警察本部から「把握件数には、被害の申告以外に目撃情報や相談等の数も計上しているため、件数が多くなっている。」旨の説明があった。

3 3. 19 アベ政治を許さない in 福岡県集会に伴う警察措置について

（警備部）

警察本部から「3月19日、福岡市内において「アベ政治を許さない in 福岡」実行委員会による集会、デモが予定されていることから、所要の体制で警戒警備に当たる。」旨の報告があった。